

平成24年8月14日定例経営会議（要約）

（平成24年8月14日 午前9時30分～12時00分）

新たな創造 変化に対応

I 開会 ～ 市長あいさつ

夏休みにより連絡不徹底のないようよろしくお願いいたします。

昨日まで、10日の準備日を入れて4日間、国体のリハーサル大会を兼ねて女子の第42回全国競技バスケットボール大会が開催された。当市では1回戦から準々決勝が行われた。リハーサル大会と位置づけし、各部で日替わりのローテーションで毎日70名強、約300人の職員を動員していただいた。大変ご苦勞様であった。各部長にも手分けして、対応していただいた。後ほど詳細について報告があると思うが、概ね問題なく進行できたという報告を受けている。当市は職員が固定ではないため、その点を心配したが、非常にしっかりと引継ぎがされており、大きな混乱はなかったと思う。改善点や、本番は観客がもっと大勢来るので、それらを想定してあと1年余りで体制作りをお願いしたい。今回、市民の皆様が毎日40人ほど手伝いに来てくださった。感謝に絶えない。このような体制、機運づくりを市民とともに進めることは非常に重要だ。来年度に向けて引き続き対応していただきたい。

前回の経営会議以降で、気づいた点を報告する。

ラジオ体操の指導者派遣の件について、健康福祉部健康課で対応していただき、保健推進委員の研修会という形で7月28日に実施した。長年、ラジオ体操・テレビ体操に出演されていた方を講師に、インストラクターにはテレビ体操等の出演者の方にお越しいただいた。11月15日に、介護予防大作戦の全体会を中央公民館で開催するが、その時にも、ご指導いただけることとなった。大変ありがたいことである。介護予防大作戦とあわせて、今後、東村山市の特色の一つとして、ラジオ体操で病氣予防・介護予防に取り組む形に持っていければいいと思っている。

介護予防大作戦は、4日に廻田公民館で行い、8町ほどで終了している。中心になって動いてくださっている方は各町で異なるが、地元老人クラブ、保健推進員、福祉協力員、体力づくり推進委員の方々、いきいきシニア、自治会等である。多い町では200人ほどが集まる盛況ぶりである。行政が仕掛けた事業ではないが、このような住民発の形での盛り上がりは大変喜ばしいことだ。継続できるよう実施計画事業に位置づけ、高齢者だけでなく市民ぐるみで健康づくり・介護予防に取り組む形にすることで、成果も上がるだろう。当市は高齢者が多く、介護保険料が26市中2番目と高い。介護保険料を抑制するためには、地道な介護予防を進めていく以外にない。他部も協力して、全体的な機運づくりをお願いしたい。

30日には評価者訓練を行った。私は市長会の東京都要望のため欠席していたため、状

況はわからない。経営会議でも議論があったように、評価項目として実績も加え、併せて事前に目標設定をするということになり、評価の方法がこれまでと若干変更される。そのことを踏まえた評価者訓練だった。評価の精度を上げることが職員のモチベーション向上に直結する。訓練を踏まえて、各課長が各職員の課題を把握しつつ、適切に指導するよう、部長の督励をお願いしたい。

6日にリサイクルセンター建設の是非を問う、住民投票の直接請求が提出された。

7日には、スマートエネルギーネットワークを見学した。これは、精錬ガスのコージェネレーションシステム、太陽光・太陽熱を活用して電力供給を行うという施設で、複数の建物でエネルギーを融通し合う実証プラントである。現在、原発をどうするかという課題がある。今朝のNHKの世論調査では「0にすべき」と「15%くらい」ではほぼ拮抗し、全体で0ないし15%が世論調査の8割であり、傾向としては脱原発の方向へと進まざるを得ないように思われる。ただしその場合、どのようにエネルギーを供給・確保していくかが大きな課題となる。天然ガス、太陽光・太陽熱等を活用した新しいエネルギーネットワークは国策でもあるが、地方自治体としても今後、こういったものを視野に入れながら考えていかなければならないだろう。将来的な可能性はわからないが、大規模な住宅開発、大型マンションの建設・建替え等でも、エネルギーの確保を視野に入れて、まちづくりを推進する必要性をあらためて考えさせられた。

当市では国体のプレ大会があったが、世界的にはオリンピックという一大スポーツイベントがあった。改めてスポーツの力、スポーツイベントが持つ経済効果・国民に与える影響等を目の当たりにした思いである。来年度は多摩地区を中心に、東京で国体が開催される。我々としては、まちづくりの一つの契機として活かしてまいりたい。リハーサルを通じて、運営の問題はもちろんのこと、それらに付随してどのように地域を活性化できるか、検討していただけるとありがたい。

それぞれの競技を見て、特にサッカー等で思うことは、組織力は当然であるが、個人技に優れているチームと日本チームが当たった場合に、個々のレベルで劣勢に立ってしまう傾向がある。やはり最終的には、個人の力を高めなければ、世界とは戦えないのかもしれない。集団競技の場合でも、そのように感じた。市役所に置き換えると、組織間の連携や組織のあり方も当然重要だが、職員個々のスキルや能力を高めなければ、底上げにはならないのだろう。スポーツ競技と市役所は違うが、本質的には、いま申し上げたような部分があるのかもしれない。これまでに目標管理等で組織力を高める努力をしてきたが、今後、それぞれの職員の技能やスキルを高めるため、どのような取り組みが必要となるか、皆で知恵を出し合ってまいりたい。

II 協議事項

(1) 地域主権改革「義務付け・枠付けの見直し」に伴う状況の確認について

国が進めている「地域の自主性・自立性を高めるための改革」による義務付け・枠付けの見直しについて、第1次・第2次一括法から、当市が直接関与していない項目を除いた79法律に関する対応状況と条例、規則制定等の対応内容を確認する。各部単位で取りまとめを行い、9月3日までに企画政策課に回答を提出することで決定とする。

III 報告事項

(1) スポーツ祭東京2013リハーサル大会について

8月11日から13日に、全国教員女子バスケットボールの大会で12チームが参加し、4日間で75名、300名の職員による協力のもと、無事に終了した。

8月10日、会場設営等の事前準備は滞りなく終了したほか、市長らが出席した代表者会議が武蔵野市で開催された。8月11から13日は、多くの応援職員とボランティアがポロシャツ着用で対応し、13日の最終日は13時30分に競技終了、15時前に撤収完了した。東村山消防署には、炎天下で駐車場に設置のテント内で対応いただいたほか、長崎県長崎市等から視察の受入れがあった。その他、運営各係からの意見と反省点を確認した。

(2) 8月臨時議会について

24年5月29日、合計8名の方の代表証明書交付申請が提出された。リサイクルセンター建設計画に関する住民の賛否を問う趣旨で条例の直接請求が行われ、24年6月3日に署名開始、有効署名数は5,775筆であった。

8月6日に選挙管理委員会から署名簿が返付され、8月7日に請求の要旨と告示ならびに公表を行った。現在、臨時議会の会期等について調整中である。

(3) 市議会9月定例会について

提出予定案件について確認する。

(4) その他について

・環境未来都市について

第7回経営会議の席上、環境未来都市に関する各部の意見を、都市環境部に整理・集約するとされたことを受けて、健康福祉部より「超高齢化社会に対応して誰もが暮らしやすいまちづくりの推進」について提案内容の説明が行われた。引き続き、都市環境部で方針

等を整理する。

IV その他

- ・再任用職員について

- ・長寿をともに祝う会

9月から、長寿をともに祝う会が開催される。日程はそれぞれ、8日（土）：久米川町、15日（土）：本町、秋津町、富士見町、17日（月・祝）：廻田町、野口町、29日（土）：美住町、萩山町、10月14日（日）：青葉町である。その他は記念品の配付になる。

- ・新山の手病院の新本館

- ・青葉小学校前の道路

青葉小学校前の道路についてテレビ報道があり、警察と教育委員会で協議し、7月30日から土日をのぞいて安全点検を行い、警察でも対応する。

- ・外国籍市民の住基登録

- ・なぎさ体験塾

毎年行われている、当市と小平市、柏崎市の3市による、子ども達の体験事業について、本年は8月22日から25日に開催される。

- ・決算のプレス発表

9月定例会告示日の8月30日15時30分より、決算のプレス発表を予定している。

V 閉会 ～ 副市長

以上